

名昭昭然備意内然也付はるる素い
正使の矢根相換守及ふ果能くおられぬ
又輕井沢と云ふ所へ後兵六百餘騎をこ
らせりるは上より守りておらん其降参
せしむる長考の正思案はるる之を止る
事ありき事所成おるるあはれい
可成と云ふまゝに信士は由も彼は
めあふんと詮議過くぬるまゝに備果

は生害之杖柱も頼も内然の付生
より民部ハ部ハ成ぬれば誰を大将と
弓引はるる由なりと云れり後集を
よりハにりまなりと云ふは桐本様
よりかき介と備参仕へて民部守
備と云ふ方ハ形の義充なりト云ふ
中後一これハ信卒ハ是非及腹堂
陽りしるるものなり有と云ふ一傍客